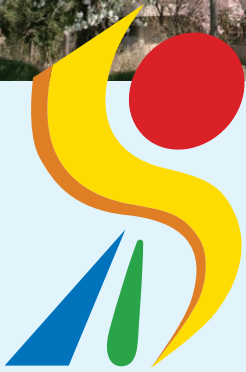


東日本大震災にて被災された皆様方に心より
お見舞申し上げます。



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センターニュース

理念

患者さまの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

基本方針

患者の皆様のご権利と意思を尊重します。
安全で優しいチーム医療を提供します。
倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。
地域医療連携の促進を図ります。
骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。
職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。

第40号
2011.5

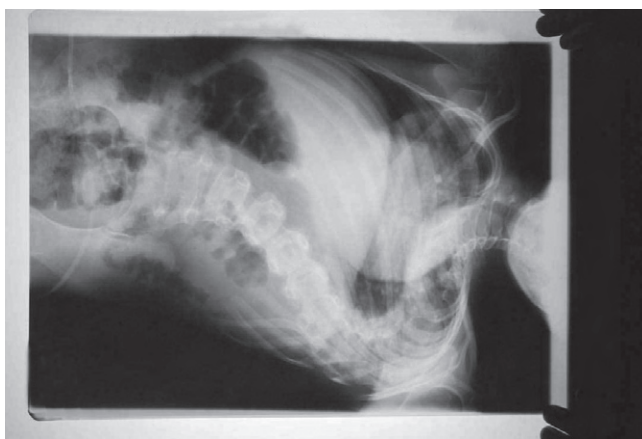
発行責任者 院長 臼井 宏

ガーナ手術ボランティアに参加して

整形外科医師 八木 満

2月末から3月上旬にかけて、アフリカ、ガーナ共和国で脊柱変形の手術に参加しましたので、ご報告します。

まずはじめに、今回のボランティアのために1週間病院を留守にすることを快諾していただきました白井院長をはじめ、病院のすべてのみなさんに大変感謝しております。ありがとうございました。今回のガーナへの訪問は私自身3年連続で3回目となります。このガーナへの医療ボランティアは、もともとは2009年に私が米国で勤務していた際のボスで、当時のアメリカ側弯症学会の会長をされていたDr. Boachieが1996年から開始したもので、毎年2回、彼の母国であるガーナでアフリカ中から集められた重症の脊柱が変形する疾患で苦しむ子供たちを集めて、無料で手術をするというものです。今では年に100人以上の子供たちの手術をしています。多くは脊柱の変形による麻痺や呼吸障害が発生していて、手術しなければ数年で死に至るであろう子供たちです。残念ながらアフリカでは多くの整形外科医は外傷を治す専門家になるため、このような高度に進行した脊柱変形を治療することができる医師は存在しないのです。ですから、このような子供たちはただ死を待つだけ、というのが実情です。我々は可能な限りの手術を行っていますが、それでも年に100人程度です。翌年までもたずなくなってしまう子供も多く目にします。このボランティアチームはみなさんがいわゆるボランティアということをご想像されるより、はるかに近代的で、最先端の器械と技術を用いて（時には日本ではまだ導入されていない多くの器械を使うこともあります。）最高難度の手術を多数行うというものです。チームはDr. Boachieを中心とした核となるメンバー以外はミッションごとに編成され、通常30-50人の大所帯です。アメリカを中心に、スペイン、フランス、トルコなどから選ばれた脊椎外科医と、看護師、リハビリ、手術中の脊髄をモニターする専門技師などで構成されています。早朝5時に皆で起床し、渋滞の首都アクラを車で移動し7時ごろから回診をして、8時頃から手術を開始します。ガーナで最も進んだ大学病院の手術室を3-4部屋借り切って、チームを4つに分けて、平行して手術を行います。遅くなる時には深夜の2時くらいまで手術を行う場合もあります。僕自身を含めて、みなこのチームの治療に携われることを誇りに思っており、全身全霊をかけて治療に臨んでいます。中日くらいには本当にへとへとになりますが、それでも不思議と力が湧いてきて、すべての任務を遂行することができます。手術患者の多くは日本のような先進国ではほとんど見ることのないほど著しく脊柱が変形した小さな子供たちです。私自身の手術技術ではまだこのような子供たちを十分に助けることができません。しかし、いつか、Dr. Boachieのように脊柱変形により命を落としてしまうような子供たちを助けられるようになるのが私の夢です。ガーナはかつて野口英世博士が当時は感染すれば100%命を落とす病気であった黄熱病の研究のために滞在し、その生涯を研究にささげた土地です。私も多くの子供たちを助けられるようになるその日まで、このチームに参加し続けるつもりです。



作業療法

リハビリテーション科 作業療法士 高橋 晴奈

「リハビリ」というと歩行訓練をイメージされる方もいらっしゃるかもしれませんが、今回はリハビリテーションの一部門である「作業療法」について簡単にご紹介させていただきます。

作業療法とは Occupational Therapy（オキュペーショナルセラピー）の和訳で、省略してOTと呼ばれています。身の回り動作から手工芸作業までいろいろな作業活動を用いて、病気やケガにより低下した機能の回復・維持を支援しています。

当院の作業療法室には、作業活動を行う部屋、上肢の運動を行う部屋、トイレ・入浴などの日常生活動作の練習を行う部屋があります。脳血管障害をはじめ、脊髄損傷や脊椎・脊髄疾患、骨折など一般整形の患者さまを対象に訓練を行っています。当院では平成23年4月現在、作業療法士長1名、作業療法士11名、作業療法助手1名の体制をとっています。

いくつか訓練内容を紹介いたします。肩や腕が麻痺や筋力低下により自分では持ち上げにくい場合に、腕の重みを取り除いた状態で運動ができる機器を用いて練習をしたり、いろいろな道具を用いて「つかむ」「はなす」といった基本的な動作の練習をします。また肩や腕に力が入りにくかったり、逆に入りすぎてしまう場合に医師と相談の上、電気刺激による治療を行っています。

また患者さまの障害に合わせ、食事動作や着がえ、ベッドと車椅子の乗り降りなど日常生活動作の方法を練習・指導しています。医師や理学療法士・言語聴覚士・病棟の看護師と情報交換したり、実際に病棟で練習していきます。また手の不自由さを補う『自助具』と呼ばれる道具を検討し、紹介・作製することもあります。

他に自宅退院に向けて住宅改造の提案や福祉用具の検討・紹介も行っています。特に車椅子を使用される患者さまの玄関・トイレ・浴室環境の検討は重要となってきます。さらに社会復帰に向け、調理や洗濯などの家事動作訓練や職業的な訓練を行う場合もあります。

スタッフ一同、より良いリハビリテーションの提供に向け、日々頑張っています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



病棟案内

9病棟 副看護師長 有田 絵里子

9病棟は病床数44床の整形外科病棟で、うち16床を手術後のリハビリを強化する亜急性期病床として運用しています。下肢関節疾患・脊椎カリエス(結核性脊椎炎)・脊椎疾患を中心とした治療・看護を行っています。下肢関節の主な疾患は変形性股関節症・変形性膝関節症・外傷性膝疾患・大腿骨頸部骨折など、脊椎の主な疾患は腰部脊柱管狭窄症・腰椎椎間板ヘルニアなどとなっています。

下肢関節疾患患者さまの大半は変形性股関節症・膝関節症で手術目的で入院され、人工関節置換術を行っています。平成22年度は人工股関節置換術63件・人工膝関節置換術76件でした。変形性関節症は痛みと歩行障害が起こるため、患者さまの症状に合わせて歩行器や車椅子の使用の必要性を検討し、痛みを軽減して安全に過ごせるように配慮しています。また、家屋改修の必要性の検討や社会資源の情報提供など、入院早期から退院後の最良の生活を想定した関わりに努めています。手術後は傷の痛みや腫れが起こり一時的に手術前より辛い思いをすることもあります。訓練室でのリハビリに留まらず、病棟内でも継続したリハビリができるよう患者さまとともに計画を立て支援しています。

脊椎カリエスの治療は抗結核薬の内服、栄養状態維持のための食事療法、装具療法、安静、手術療法を行います。平成22年度は16名(手術療法11名)が入院しました。抗結核薬は6ヶ月以上の内服を必要とし、手術療法後は1ヶ月以上のベッド上安静後ギプスを装着し慎重にリハビリを進めていきます。手術療法が必要な患者さまは6ヶ月以上の入院生活を余儀なくされます。脊椎カリエスの専門的治療を行う病院は少なく、骨・運動器疾患治療を中心とした当センターでは東京都全域及び関東地方からも患者さまが紹介されて入院しています。看護師は、家族よりも長い時間を共に過ごすこととなります。患者さまの一番近くにいる看護師は、穏やかな毎日が過ごせるようコミュニケーションを多く持ち、安心と元気を提供するとともに癒しの看護を心がけています。退院時には軽やかな足取りで帰られる姿に、これからどんな楽しみが待っているのだろうと嬉しく思います。

9病棟は東棟4階にあり正面玄関より一番遠い病棟のため検査や買い物など不便なところがありますが、四季折々の風情が一番感じられる病棟です。春は桜を見下ろし、夏は昭和記念公園や西武園、武蔵村山市の花火大会を観覧でき、秋はイチョウや柿の木を眺め、冬は澄んだ空に昇る朝日を見ることができます。西側は富士山を一望でき、富士山がきれいに見える朝は患者さまのカメラのシャッター音が聞こえ、癒しの場となっています。5月頃までは富士山がきれいに見られますので、是非足を運んで来てください。



・・・ 転任のご挨拶 ・・・



看護部長 小野瀬 友子

4月1日付で、目黒区の東京医療センター副看護部長より昇任で参りました。

当院の専門性の高い医療を患者や家族の皆様の視点に立って提供し、健康を共に考え喜びを分かちあえる看護部でありたいと思います。人には個性があるように、それぞれの看護師のもつ能力を発揮し輝く看護師に成長できるように支援することで、村山医療センターの医療の質のさらなる向上に貢献できるよう努めます。これから、地域の皆様とも積極的に交流の機会を作っていきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



薬剤科長 横山 康孝

本年4月より村山医療センターに赴任いたしました薬剤科長の横山と申します。平成8年から16年まで当院でお世話になり、その節はありがとうございました。患者さまの皆様方が安心して良質な医療が受けられますよう、患者さまの目線に立ち、医療人として患者さまはもとより、職員にも信頼される薬剤師となるよう努力し続ける所存でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



6病棟 看護師長 杉山 学子

はじめまして。看護師長の杉山学子（たかこ）と申します。このたび6病棟に勤務することとなりました。6病棟は回復期リハビリテーション病棟ということで、患者さまを中心に医師、看護師、セラピスト、ソーシャルワーカーなどたくさんの職員が関わって機能回復、自宅退院などを目指して援助させて頂いています。退院される患者さまの笑顔を目撃する元としてこれから頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



臨床検査科 副臨床検査技師長 齊藤 美穂子

皆さん初めまして

4月1日付で信州上田医療センター（旧長野病院）より昇任で参りました齊藤美穂子と申します。前施設では生理検査を担当しており、主に心臓、乳腺超音波検査を行っていました。村山医療センターは整形外科の専門病院でありいろいろ戸惑う面が多く、ご迷惑をお掛けする事もあるかと思えます。「迷ったら患者さんの立場に立って物事を進めなさい」との上司の教えを守り、微力ではありますが精一杯努めさせていただきます。

また、いつまでも向学心を失わず皆さんからも多くの事を学んで行きたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。

企画課 経営企画係長 佐藤 崇

1月16日付で、水戸医療センターより転任しました事務部企画課経営企画係長（業績評価係長兼任、経理係長兼任）の佐藤と申します。

村山医療センターは、他の国立病院機構の病院と比較すると、規模が小さく職員数も少ないので、事務員一人一人が、幅広く色々な業務を行っているという印象です。

経営企画系の業務は、経営改善を図ることですので、村山医療センターの健全な経営に向けて努めます。どうぞよろしくお願ひします。

診療放射線科 特殊撮影主任 田底 雅弘

4月1日より放射線科特殊撮影主任として勤務しています田底雅弘です。前は循環器病疾患を中心とした病院で勤務しておりました。村山医療センターの一員として放射線技師、医師、看護師をはじめとするスタッフはもちろん患者さまからも信頼される職員となれるよう努力していきたいと考えています。宜しくお願ひ致します。

2病棟 看護師 門井 佳美

4月1日より勤務させていただいております。甲府病院から異動で参りました。整形外科は初めての経験でまるで素人です。患者さまに教えて頂くことも多くなると思ひます。どうかご指導ご鞭撻をお願ひ致します。

9病棟 看護師 橋本 裕子

2月より千葉東病院から異動してまいりました。

実は、以前の病院で紹介されるまでこちらの病院の事を知りませんでした。しかし、整形外科中心でリハビリに力を入れている病院だと教えてもらひ、是非こちらでお世話になりたいと思ひて転勤の希望を出させていただきました。

整形外科の病棟に配属されるのは初めてで戸惑うこともあるのですが、多くの事を学ばせていただきながら、患者さまが元気になるお手伝いをさせていただきたいと思ひます。

薬剤科 薬剤師 大越 千紘

はじめまして。平成23年4月1日付けで薬剤科に参りました、薬剤師の大越千紘と申します。

新潟県にある、さいがた病院で6年間勤務し、初めての異動により、村山医療センターで働かせていただくことになりました。さいがた病院は精神科・神経内科が中心の病院で、環境が変わり、とまどうことも多いですが、1日でも早く仕事に慣れて、皆様のお役にたてるよう努力していく所存ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。



●●● 新任のご挨拶 ●●●



整形外科医師 武田 健太郎

平成23年1月より村山医療センターで勤務させて頂いております武田健太郎と申します。整形外科の中でも、股関節・膝関節、また、四肢外傷を中心に診療に当たらせて頂いております。人工関節手術では最小侵襲手技を用ひ、また、関節鏡を用いた患者さまにかかる負担をできるだけ少なく、早期社会復帰を目指した手術を行っております。わかりやすく、やさしく、的確な治療を目指して治療を行いたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



整形外科医師 田邊 剛

4月1日から村山医療センター整形外科に配属になりました、田邊剛（たなべごう）と申します。専門の手の治療をきっかけに、多くの患者さま・スタッフと「楽しく仕事をできる」ように頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



整形外科医師 藤吉 兼浩

4月1日から村山医療センター整形外科に配属になりました、藤吉兼浩と申します。専門は脊椎・脊髄外科です。大学では脊髄損傷の研究を行ってきました。今後も微力ながら脊髄損傷治癒にむけて研究を続けると同時に、現在脊髄損傷で苦しんでいる患者さまはもちろんのこと、脊椎、脊髄関連のケガや病気で苦しんでいる地域の皆様のお役にたてますよう、頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



神経内科医師 志方 えりさ

4月1日より神経内科担当となりました志方と申します。神経内科は脳神経内科と標榜している病院もあり、名前の通り「脳と神経、脊髄、筋肉」を専門としている内科です。歩き方が悪いので腰が悪いと思っていられる方の中にパーキンソン病、末梢神経の病気が隠れていることがあります。また最近、急増している糖尿病も手足のしびれで見つかることもあり「神経？」と思ひ込まず受診していただけたらと思ひます。



リハビリテーション科医師 杉山 瑠

リハビリテーション科の杉山瑠です。4月1日付で慶應義塾大学より赴任してまいりました。外来および回復期リハビリテーション病棟や脊髄損傷病棟などを中心に診療にあたらせて頂きます。村山医療センターでの日々の臨床経験を通じて少しでも医師として成長し、患者さま・ご家族の力となれるよう努めていきたいと思ひております。どうぞよろしくお願ひいたします。

企画課医事 外来係 岸本 直樹

国立病院機構関東信越ブロック事務所に採用を頂き、今年の1月より村山医療センター企画課の外来係で勤務しております岸本と申します。病院での勤務は初めてで周囲の皆様には御迷惑をお掛けしてばかりですが、業務をしっかりと覚え、患者さまの疑問に対して適切にお答えすることが出来るようになることが今現在の目標です。精一杯努力し、患者さまのお力に少しでもなることが出来れば幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

リハビリテーション科 作業療法士 伊藤 美智香

老健から来ました伊藤と申します。毎日新しいことの連続ですが、なんとかやっています。先輩スタッフの方々がたくさんのアドバイスをくださり、とてもありがたく思っています。村山医療センターのリハビリテーションの燦然たる歴史に恥じないように、患者さまの視点に立ち、良質で高度な医療を提供できるように頑張ります。

2病棟 看護師 加々美 美奈子

本年2月1日付で2病棟に配属になりました。看護師となり11年目です。今まで民間病院で勤務して参りました。私が看護する上で一番大事にしてきた事は、患者さまや御家族さまと同じ視点でその方達が本当に望む結果となるよう看護するという事です。今までの経験を活かし、一人でも多くの方が安心して入院生活を送れるよう又、笑顔で退院できるよう援助させて頂きたいと思っておりますので宜しく御願い致します。

2病棟 看護師 植木 あゆみ

2病棟に配属になりました、植木あゆみです。村山医療センターへは昨年まで看護学生として実習をさせて頂き、看護師として勤務することになった今でもまだ、学生のような気分が続いています。

しかし、これからは看護師として、患者さまに安全で安楽な医療を提供できるよう、努力していきたいと思っております。よろしく御願い致します。

2病棟 看護師 指田 典子

このたび、村山医療センター2病棟に配属が決まった指田典子です。看護師として患者さまと接することができることに大変な喜びを感じております。しかし、学生としてではなく、看護師の立場となって患者さまに適切な看護を提供することが出来るのか、不安が渦巻いてもいます。まだまだ半人前にも至らない私ですが、一日でも早く、一人前の看護師として患者さまのお役に立てるよう精進してまいります。よろしく御願いします。

3病棟 看護師 小島 緑

このたび3病棟に配属になりました。

幼少の頃、武蔵村山で育ち、今回30年振りに地元に戻って働く事が出来て、嬉しく思っております。今までは心臓外科、循環器で働いていました。整形外科は久しぶりなので、初心に戻って勉強する所存です。よろしく御願いいたします。

3病棟 看護師 小形 正美

あたたかな雰囲気と、あたたかな笑顔のあふれる村山医療センターの3病棟に配属させていただきました。まだ、看護師としてスタートラインに立ったばかりですが、これからの患者さま一人ひとりとの出会いを大切に一步一步確実に前に進んでいきたいと思っております。また、村山医療センターの一員として、患者さまの視点に立ち、安全な看護を提供し健康回復の支援を実践していきたいです。よろしく御願いします。

3病棟 看護師 有澤 智代

4月より3病棟に配属になり、ここ数日間緊張した毎日をお過ごしています。看護部の理念である「患者さまの人権を尊重した看護を提供します。」を目標とし、患者さまのご期待に添えるよう努力していきたいと思っております。また、患者さまが安心して入院生活を送れるよう安全安楽な看護に責任をもち、他職種と連携を図りながら「笑顔・思いやりの心」をもって看護が実践できるよう成長していきたいと思っております。よろしく御願いします。

4病棟 看護師 小俣 亜由美

はじめまして。今年の1月から4病棟に入職しました、小俣亜由美と申します。入職後、3カ月が経ちました。村山医療センターの桜もきれいに咲きほこり、また、患者さまやご家族の方々にも笑顔をいただき、嬉しく思います。そのおかげで、緊張しながらも楽しく仕事をさせて頂けます。

この村山医療センターでは、整形外科の看護師として精一杯、努力して患者さまをはじめ、スタッフと共に温かい看護を目指していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しく御願い致します。

4病棟 看護師 酒井 康成

桜の花が満開のこの4月、私は整形外科看護にとっても興味があつて村山医療センターに就職しました。新人研修では、色々な職種の先輩方から、病院職員としての心がまえや、医療安全に関してなど、様々なことを学びました。まだまだ患者さまの前へ出ると緊張してしまいがちですが、患者さまの笑顔に励みに、心優しい先輩方の指導を受け、これから日々成長していきたいと思っております。

4病棟 看護師 中居 春香

4月から村山医療センターに採用となり、笑顔と前向きさをモットーに一人前の看護師を目指していきたいと思っています。新人であるため、患者さまから教えていただくことが多くあるとは思いますが。それを日々吸収し自分の物としていきたいと思っています。一番元気に働けるエネルギー源は皆さまからの笑顔であるため、いつでもお声をかけていただいで明るく楽しく働いていきたいと思っています。

4病棟 看護師 高橋 智香

今年度から村山医療センターで働かせていただくことになりました。

私は武蔵村山市内で育ったので、市内で働くことができ大変嬉しく思っています。

何をするにも初めての事なので、毎日が不安と緊張でいっぱいです。しかし一日も早く仕事に慣れ、患者さまに安全でよりよい看護が提供できるよう頑張っていきたいと思っています。

また、笑顔絶やさず患者さまにも元気を分けられるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

6病棟 看護師 佐藤 直樹

この度4月1日付で6病棟に配属となりました、看護師の佐藤と申します。

近年の医療・看護の現場では患者さまの立場を考え、より良い医療・看護を提供していくと共に接遇面でのサービスの充実が重視されてきています。村山医療センターの理念にもありますが、患者さまの視点に立ち、良質で高度な医療を提供するという事は基本的な事ではありますが日々続けていく事は難しい事でもあります。その中で私は毎日の業務の中でいかに看護の質を保っていけるか、接遇はしっかりと行えているか、日々進歩していく医療の中で知識を高めていくよう研鑽を行えているかなど、決して楽な道のりではないのですが頑張っていきたいと思っております。患者さまに安全安楽で充実した入院期間を送っていただけるよう、また村山医療センターの今後の発展に繋がるように関わっていけたらと思います。

6病棟 看護師 小菅 紫織里

4月から新人で採用していただいた小菅です。この村山医療センターで看護師として働きたいと思ったのは、患者さまひとりひとりと時間をかけて関わりたいと思ったからです。その中でも、私の働かせていただいている6病棟は、回復期リハビリ病棟であり、患者さまの自立のための援助を毎日行えます。まだ日は浅いですが、毎日多くのことを勉強させていただいています。立派な看護師になれるように勉強を続けていきたいと思っています。

7病棟 看護師 近藤 沙耶

私、近藤沙耶は今年の4月より7病棟で働かせて頂いています。

村山医療センターで、日々温かい方々の中でたくさんの事を学ばせて頂いております。

自分の看護師になりたいという夢が叶い日々わくわくと緊張の繰り返しです。

まだまだ、頼りない看護師かとは思いますが今後しっかりと成長し、頼りがいがあり患者さまが安心出来るような看護師になりたいと心から思っています。

1日でも早く患者さまのお役に立てるよう、日々頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

8病棟 看護師 安富 綾奈

4月から村山医療センターで働かせていただくことになりました。ずっと憧れていた病院で、看護師として働くことができ、嬉しく思います。初めてのことも多く、戸惑いや不安も多くあります。しかし、優しい先輩方に教えてもらいながら、看護師として成長できるように頑張っていこうと思います。また、患者さまにとってより良い看護が提供できるように日々学びを深めていきたいです。これからよろしくお願ひします。

9病棟 看護師 松本 いつ子

私は昨年10月から9病棟で勤務している看護師の松本です。村山医療センターは、武蔵野周辺の景色が一望でき、周囲に緑が多いとても風景がきれいなことが自慢の病院です。

私は以前にも整形病棟での勤務経験があるため、そこで得た経験を活かしながら村山医療センターで誠心誠意、患者さまに寄り添った看護に励んでいきたいと思っております。患者さまに、「この病院に入院して良かった」と思っただけのような看護を心掛けたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。

9病棟 看護師 下村 萌

4月から村山医療センターに採用になりました、下村です。

9病棟に配属され日々先輩看護師について病院の特徴や技術について学んでいます。

就職して2週間が経ちますが、患者さまとの関わりの中で毎日新しい発見をしています。私は患者さまをよく見て、よく話し、変化に気が付ける看護師になりたいと考えています。まだまだ未熟ではありますが、はやく病院・病棟に慣れて病室に訪室して患者さまの話に耳を傾けることが出来るよう頑張っていきたいと思います。よろしくをお願いします。

9病棟 看護師 田藤 良枝

この度、9病棟に配属になりました、田藤良枝です。村山医療センターには学生時代に実習をさせて頂き、大変お世話になりました。そんな馴染みのある病院で勤務できることをうれしく思っています。この病院は慢性期の患者さまが多く、入院期間も長いものとなります。そのような患者さまが居心地の良い場所となるよう、コミュニケーションを大切にして、丁寧な看護を心がけて、日々努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。

9病棟 看護師 井出 佐知子

この春から村山医療センターに採用となったことを嬉しく思い、またより一層の看護の勉強に励みたいと思っています。患者の皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるとは思いますが、医療者の中で皆様に一番近い看護師として皆様には身近な頼れる存在となれるよう頑張っていきたいと思っています。また、皆様との出会い・関わりは大切にしていきたいと考えていますので、いつでもお声掛けして下さると嬉しく思います。

手術室 看護師 甲斐 弘将

看護部手術室に配属されました、甲斐弘将と申します。村山医療センターには学生時代に実習で来て、「看護師さんがとても親切で、丁寧に教えてくれる」という印象を持っていました。実際に働いてみると、先輩看護師はとても優しくいろいろと教えてくださいましたし、廊下ですれ違う患者さまも笑顔で挨拶に答えてくださいます。とても温かい雰囲気の中で働けることに喜びを感じています。手術室という場所柄、お目にかかる機会も少ないかと思いますが、よろしくをお願いします。

リハビリテーション科 理学療法士 嶋田 泰大

本年度より村山医療センターに採用となりました理学療法士の嶋田泰大です。患者さまに対する敬意の精神と新たな知識や技術を拡充していくという向上心を大切にして、理学療法士として成長していきたいと思っています。リハビリを通して皆様と関わり、少しでも充実感や満足感を提供できたら幸いです。まだまだ未熟な点が多いですが、よろしくをお願いします。

リハビリテーション科 理学療法士 福田 恭平

初めまして、新人理学療法士の福田恭平です。

村山医療センターでは以前助手として3年間働いていたので顔見知りの方もいらっしゃるかもしれませんが。

話好きなので、ご存知の方もそうでない方も是非とも見かけたらお声をかけください。

笑顔を絶やさず、皆さんに元気をあげられるような理学療法士を目指して頑張っていきたいと思っています。これからよろしくをお願いします。

リハビリテーション科 理学療法士 池田 竜士

本年度より勤務させて頂くことになりました、池田竜士と申します。話しやすい人間関係の下で治療を行い、患者様とその御家族を精神的にも支えていける理学療法士でありたいと考えております。どんな些細なことでも構いませんので、なにか不安なことや気になることがあれば教えてください。患者さまの信頼に応え、最善の治療を提供させて頂けるよう努めます。全力で取り組んでいきますので、これから宜しくお願い致します。

第2回院内臨床研究発表会を終えて

臨床研究センター長 町田 正文

2年前までは指定研究に対する発表会を行ってきましたが、一昨年度より一般演題を含めた研究を発表する院内臨床研究発表会に発展し、第2回院内臨床研究発表会を平成23年3月5日の土曜日に開催しました。昨年度一年間に行われてきた研究成果や院外で行われている研究会の紹介などを含めた幅広い発表が各部門から行われました。発表後の討論には十分な時間を割いたため活発な質疑応答ができました。特に今後、発表部門を超えた研究に発展するための討論も行われ、意義ある研究会になったものと思われました。一昨年度同様、優秀な発表者の青嶋千緒実主任言語聴覚士の『頸椎前方固定術周術期の嚥下機能の検討』、齋藤美晴看護師長の『脊髄損傷患者における看護必要度調査の現状』、飯塚慎悟整形外科医師の『ラット傍脊柱筋の術後変化に関する基礎研究』の3演題には臼井宏院長より、表彰と奨励賞が贈られました。

今年度は年間行事として組み入れ、1年間の研究成果を3月に発表出来るように早くから準備し、研究を始めて頂けることを望んでいます。その研究成果を臨床に生かし、患者さまにフィードバックが出来ればと願っております。また、院内の発表にとどまることなく、それぞれの学会や研究会でも発表して頂き、村山医療センターの業績を増やすと同時に、新しい情報を内外に発信されることを希望しております。



便秘のときの食事について

栄養管理室 星野 純子

排便の習慣は個人差が大きいため、どの程度で「便秘」となるか明確には決まっていますが、一般的には数日以上排便がなく腹部膨満感や腹痛など、日常生活に支障がある場合をいいます。

腸に関する病気でなく、生活習慣や食生活が原因で排便機能の障害が起こる便秘は、3タイプに分けられます。

タイプ別の特徴と解消のポイントは、

- ①直腸性便秘は、「生活習慣が原因で起こるもの」。ポイントは腸からの「便を出したい」という指示を脳にちゃんと伝えるようにすること。朝一番にコップ一杯の水を飲み、体に便意を感じさせることも効果的です。食物繊維は水溶性（野菜類〈葉物に多い〉・果物類・海草類・コンニャク）と不溶性（穀類・豆類・野菜類・果物類・きのこ類）を水と一緒にたっぷりとり、便の量を増やします。
- ②弛緩性便秘は、「腸の動きの低下が原因で起こるもの」。腹筋の筋力が弱い高齢者、やせ型の女性、運動不足の方が多いです。ポイントは腸をしっかり動かして便を出すようにすること。冷たい水やお酢やコショウなどの香辛料をほどよく使うと、腸に刺激を与えられます。食物繊維は直腸性便秘と同じでたっぷりとりまします。
- ③けいれん性便秘は、「疲れやストレスが原因で起こるもの」。ポイントは腸への負担を少なくしてスムーズに便を出すようにすること。冷たい水やお酢やコショウなどの香辛料や、脂肪の多い料理やアルコール、カフェインなどは腸を刺激するので避けましょう。食物繊維は不溶性だと腸を刺激するので控えませんが、水溶性であれば腸内の善玉菌が増えて、便がスムーズに出やすくなるので多くとりまします。

このほかに、朝食をとることや規則正しく食べることも大切です。1日3食きちんと食べ、便秘のタイプに合わせた食生活で解消しましょう。

◆ お詫び ◆

さる3月11日に発生しました東日本大震災にて当院も被害を受けました。特に東病棟の増築部分は地震により、エクспанション部分の金物が破損しました。4階の9病棟は、エクспанション部分の破損が激しいため、患者さまを全員他の病棟へ転棟していただきました。計画停電の際には、暖房はもちろんのこと手術や外来の診療体制も制限させていただかなければならず、患者さまには大変ご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫びいたします。現在9病棟の改修はまだ完成しておりませんが、職員一同一丸となって復旧に努めておりますので、よろしくお願いたします。

患者さまの権利と責任

1. 個人の人格は尊重され、安全で良質な医療を受ける権利があります。
2. 自分の受ける医療について、十分な説明を受けた上で自分の意思で医療の選択をする権利があります。
3. 自分の受ける医療に対し、不明な点は質問することができ、診療情報の提供を受けたり、開示を求める権利があります。
4. 個人の情報を直接医療に関わる医療従事者以外の第三者に開示されない権利があります。
5. 自分の受ける医療について、別の病院を受診したり転院することができます。その際、十分な診療情報の提供を受ける権利があります。
6. 自分の健康に関する情報を正しく提供し、また他の患者の診療に支障をあたえず、医療従事者と協働して医療に参加する責任があります。

臨床倫理指針

1. 患者さまの人格、信仰、意思等を尊重し、説明と同意に基づく患者さまの自己決定を優先します。
2. 患者さまのプライバシーを尊重し、守秘義務の遵守と個人情報の保護を徹底します。
3. 患者さまの尊厳及び人権に関わる医療については、臨床倫理委員会で審議を行い、方針を決定します。
4. 関係法規、ガイドラインを遵守し、検査・診断・治療・研究を行います。
5. 医療の発展のために積極的に臨床研究を行い、その実施においては倫理審査委員会において十分検討をおこないます。

平成22年度患者数の推移

【入院】（1日平均入院患者）

| 診療月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 合計 | 225.2 | 228.0 | 242.5 | 241.0 | 247.6 | 223.8 | 243.2 | 262.8 | 236.4 | 227.9 | 253.1 | 201.1 | 235.9 |

【外来】（1日平均外来患者）

| 診療月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 合計 | 210.8 | 213.0 | 208.6 | 205.5 | 199.2 | 210.1 | 207.0 | 202.3 | 202.3 | 215.9 | 216.9 | 199.4 | 206.8 |

外 来 診 療 担 当 医 師

H23.5現在

| 受付時間 | 診療科等 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備 考 | |
|------------------|----------------------|--------------------|---|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|-------------------|
| 一般 外来 | 内 科 | 山 縣 | 山 縣 志 方 | 山 縣 志 方 | 原 田 | 杉 本 | | |
| | 外 科 | (手術日) | 瀬 川 | 瀬 川 | 瀬 川 | ※瀬 川 | ※第2金曜、第4金曜 の診察時間は 10:00~12:00です | |
| | 整形 外科 | 再診 | 白井[関・整] 竹光[脊・整] 田邊[手・整] (午前のみ) | 福田[脊・整] 藤吉[脊・整] 名越[脊・整] | 塩田[脊・整] 武田[関・整] 八木[脊・整] | 町田[脊・整] 金子[脊・整] 白井[関・整] | 笹崎[関・整] 五十嵐[脊・整] 飯塚[脊・整] | 黒字：側 弯 白字：脊髄損傷 |
| | | 初診 | 交替制 | 交替制 | 交替制 | 交替制 | 交替制 | |
| | リハビリテ ーション科 | 白 井 | 植 村 | 森 | 杉 山 | 交替制 第5金曜日は休診 | 第1金曜…森 2 …植村 3 …白井 4 …杉山 | |
| | 歯 科 | 宮 本 | 宮 本 | 宮 本 | 宮 本 | 宮 本 | 予約制 | |
| 特 殊 外 来 | 手の外来 | | | | 田 邊 | | | |
| | 内 科 リウマチ | | | | 山 縣 | | 予約制 | |
| | 整形リウマチ スポーツ外来(下肢) | | | 笹 崎 第1・3週 | | | ※毎週交替 予約制 | |
| | 側 弯 | 斎藤(正) 第4週のみ | | | 町 田 金 子 | 町 田 福 田 第2・3週 | 予約制 | |
| | ロコモ外来 | | 町 田 竹 光 第2・4週 | | | | 予約制 | |
| | 骨粗鬆症 | | | | 町 田 | | 予約制 | |
| | 装具外来 (リハ棟) | 植村・森 白井・杉山(※午後) | | | | | 予約制 | |
| 10:00~ 12:00 | セカンドオピニオン (整形外科) | | ○ | | | | 予約制 | |

診療について

整形専門分野
(脊) 脊椎・脊髄
(関) 股・膝関節・下肢
(手) 手・上肢
(整) 整形一般

診 療 日 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始は除く）

診療受付時間 初診の方 午前8時30分～午前11時00分

再診の方 午前8時30分～午前12時00分

※急患は（整形外科）随時受付けております。

専門外来については医事窓口にてお問合せ下さい。

毎月初めに保険証の提示をお願いします。変更のあった場合はお知らせ下さい。

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター
〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1
TEL 042-561-1221(代) FAX 042-564-2210
URL : <http://www.murayama-hosp.jp/>

伊奈平南クリニック

院長あいさつ

三十七年前、武蔵村山市伊奈平に義父が「タブチ産婦人科」を開業致しました。九年前義父が他界したため、平成十六年二月、建物を建て替え「伊奈平南クリニック」を夫婦で新たに開業致しました。診療科は整形外科、リハビリテーション科、小児科です。私が整形外科、リハビリテーション科を担当し、妻が小児科を担当しております。

開業当時、周囲は武蔵野の面影を残す雑木林があり民家も少なかったのですが、その数年後には七十数棟の広大な宅地開発があり様相が一変しました。若い家族や子どもが増え大変にぎやかになりました。一方、近隣である立川一番町や都営松中団地は比較的高齢者の多い土地で「タブチ産婦人科」で出産され、現在整形外科の変性疾患などで当院に通院されている患者さんやまたそのお子さん、お孫さんが小児科に通院されていたりとご家族、ご親戚でお付き合い頂いている方々も多くいらっしゃいます。二世帯、三世帯に渡って長いお付き合いのできるホームドクターとして微力ながら地域に貢献したいと常々思っております。

開業医は大病院と違い、なかなか思うように検査や手術もできないため診断や治療に悩むことも多いのですが、必要に応じて一人一人の患者さんに適した高機能の専門病院を紹介する事ができればと考えております。

特に武蔵村山市は医療機関の少ない土地柄ではありますが、村山医療センターには整形外科の各分野のエキスパートの先生が揃っていて、当院の手術適応と思われる患者さんはもとより、診断に苦慮する患者さんも適切に対応して頂き、安心して紹介できる病院であると大変感謝しております。

今後も急なお願いでご迷惑をお掛けする事も多いかと思いますがご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



院長 田中 大春 先生



診療科

整形外科／リハビリテーション科／小児科

受付時間

月・火・木・金 9:00～12:00
15:00～18:00
土 9:00～12:00

休診日 水曜日・日祝日・土曜日午後

ホームページ <http://www.myclinic.ne.jp/inacli/pc/>

住所 東京都武蔵村山市伊奈平4-4-1

電話 042-560-1331